

ということが、最良の平成維新の実現なのだと思う。いつの時代でも、直面する現実に向かって、よりよい未来の国を形づくってゆく勇氣ある人々を志士と呼ぶが、それは言い換えれば真の生活者である。私達の団体がこの時代の中で適切な政治的演習を課題として、より広範な地域でより重層的な人々と共に、真の生活者としての連携が可能であれば維新は決して遠いものではない。

暁の備忘録 (1996. 4. 20)

## 平成維新千葉の活動状況報告

### 生活者主権の平成維新千葉

大井 信

平成維新千葉には約140名の会員がいます。しかしながら千葉県はなかなか広くて、これだけの人数では全体をカバーするのは難しく、会員だけでは実のある活動ができない状況です。そこで、維新の会単独の企画だけでなく、他の市民団体と提携イベント・勉強会などを実施しています。提携の形としては、講師を外務の方をお願いする・共催・向こうのイベントにパネラーまたは講師として参加、など色々です。その活動の中から二つ事例を紹介します。

1. 市民オンブズマンについての公開セミナー4月18日に行われたこのセミナーの主催は、千葉政経塾の船橋分室という位置付けの「風と土の会」でした。平成維新千葉からは、代表の高橋さんがパネラーとして参加しました。このセミナーは、県内のオンブズマン会議の活動状況を紹介し、近隣市における市民オンブズマン会議発足の契機となることを意図して企画されました。平日の夕方でしたが、定員50名の会場に座り切れないほどの来場者が集まりました。なお、千葉政経塾とは昨年統一地方選挙や、「住専処理に税金を投入することに反対を要望する議会への請願」などでも一緒に活動してきました。

2. 市民オンブズマン連絡会議  
全国市民オンブズマン連絡会議は(おそらく)95年春ごろ発足した市民団体で、大阪・名古屋・東京・仙台の弁護士が中心となって下水道談合、官官接待、カラ出張などの実体解明に取り組んでいる市民団体です。その主張は私達の考えと一致する部分が多く、95年10月に開催された千葉県市民オンブズマン連絡会議の参加者に平成維新千葉の会員が

入っていたこともあり、千葉県では市民オンブズマン連絡会議をサポートする方針を採っています。具体的には、市川市および柏市で作られた市民オンブズマン交流会議や連絡会議のメンバーとなり、市川では情報公開条例の制定の要望書を市議会に提出しました。昨年末時点では、都道府県単位のオンブズマン組織があるところは少なく大阪・愛知・宮城・千葉など約10団体でしたが、今後は整備が進む見込みですから東京でも連絡をとって見てはいかがでしょうか。

平成維新千葉では、ここに挙げた千葉政経塾や市民オンブズマン連絡会議だけではなく、「にんじんネット」や「リンカーンクラブ」などの団体とも交流しています。今後も全国の維新の会の皆さんを始めとした外部パワーと相互乗り入れで活動していきたいと考えています。

全国で一番人材が豊富な東京の皆さん!

今後もよろしくお願いします。

## いしん埼玉市民の会活動状況

### いしん埼玉市民の会

会長 辻本時

1995年10月15日 大宮の市民会館にて、平成維新の会 埼玉エリアの解散と新組織である「いしん埼玉市民の会」の設立を決める総会を開催し、新たなスタートを切りました。「いしん埼玉市民の会」は、大前研一氏が提唱した「平成維新憲章」を基本理念とし、生活者にとってより良い国を造る事を目的としています。そのための手段として地味ではあるが、着実な市民運動を行っていきこうとしています。着実な市民運動の継続こそ、政治・行政を生活者のためのものに改革できると信じているからです。

「いしん埼玉市民の会」は、市民運動の第一歩として、県議会選挙における「選挙公報」の請願運動を開始しました。埼玉県は、県議会選挙時に候補者の経歴・政見等をまとめた「選挙公報」を発行していません。すなわち、投票に必要な情報を選挙民に提供していないのです。選挙前に候補者の政見を知る事は、投票時に資するばかりでなく、当選後の政治家の言動をモニターするためにも必要な資料となるはずで、東京都など埼玉県より人口の多いところで選挙公報を発行しているのですから、技術的には問題はないはずで、このような経緯から、今年度活動方針として「選挙公報」

の発行の請願運動を挙げ、年初から取り組んできました。今後のスケジュールは、6月議会に請願を提出しますので、それまでに署名を集める予定です。会報の4月号では、署名用のがきを同封し署名を呼び掛けました。この運動を通じて他の市民運動団体にも呼び掛けて行くつもりです。他団体を巻き込み「選挙公報」の実現に、そして、政治・行政の変革に向けて努力していくつもりです。

「いしん埼玉市民の会」は、8つのサークルがあり、各サークルでそれぞれのテーマを持って勉強会をしています。このサークル活動が、もうひとつの主な活動です。浦和サークルは、米の自由化に揺れる2年前「米問題に関する素朴な質問 Q&A」と言う立派な小雑誌を出しました。水曜会という女性だけのサークルは、フランスの核実験に反対したり時事問題について語り合い勉強しています。サークルロックは、情報公開制度について勉強中です。越谷サークルは、「高齢化社会を考える」と言うテーマでこれからの福祉・医療・年金問題を勉強してきました。現在、まとめの段階です。他のサークルも定期的に会合を持ち活動しています。

旧平成維新の会の首都圏道、すなわち東京・神奈川・千葉・埼玉各エリアと交流を深めるため、隔月、偶数月の第3月曜日、首都圏連絡会と言う会議を行っています。首都圏道は、できるだけ連携して活動し、効果をより大きなものにして行こうとしています。2月には、「平成維新を実現する都民の会」から起こり平成維新神奈川も積極参加した「住専処理に税金を使うな!市民集会」は、千葉とともに埼玉も参加しました。これは、首都圏道が協力して行った初めてのイベントと言う意味で画期的な意味のある集会でした。「いしん埼玉市民の会」は、これからも首都圏道の団体とでき得る限り協力していくつもりです。

今年の1月から従来の「エリアインフォメーション」に代わる「いしん埼玉市民の会」会報を発行し、会員に郵送しています。情報公開等を要求していく会ですから、会の情報は、できるだけ記載するよう心掛けています。以上の運動を通して、コストを下げ生活の質を向上させる社会の実現を目指します。